

2020年度 第2回 CPC研究会 オンデマンド配信

日 時 : 8月3日(金) ~ 7日(金)
視聴方法 : 申し込みをされた方に、配信 URL をご連絡いたします。
なお、配信 URL の再配布、動画のダウンロードや録画は禁止です。
料 金 : 維持会員・大学官公庁関係=無料 / 非会員=30,000 円
申込締切 : 7月29日(水)

<http://cpc-society.org/>

「炭素材料の電気伝導の基礎とエレクトロニクス領域への応用」

法政大学 高井 和之 氏

- 1) 炭素材料とグラフェン
- 2) グラフェンの電子構造
- 3) 非理想的状態のグラフェンの電子構造
- 4) 炭素材料およびグラフェンの電気伝導とデバイス応用

炭素材料は古くは導電性材料として、さらにはナノカーボン物質の登場により、半導体材料としてもエレクトロニクス領域への応用が試みられて来た物質です。しかしながら結晶成長や構造制御、デバイス作製プロセスなどにおける課題が未だ多く残されています。本講演では炭素材料の基本構造となっているグラフェンの電気伝導の基礎を紹介するとともに、現実に得られる炭素材料試料の非理想的要素が電気伝導にもたらす影響について述べます。

「黒鉛のボールミル処理による電気二重層キャパシタ用電極材料の開発」

産業技術総合研究所 加登 裕也 氏

- 1) 電気二重層キャパシタの原理と特徴
- 2) ボールミルによる黒鉛の粉碎処理とその物性
- 3) キャパシタ用電極材料としての特性

電気二重層キャパシタは、イオンの吸着を利用して蓄電するエネルギーデバイスで、電極材料として、一般に、活性炭など比表面積の大きい多孔質炭素が用いられます。一方、遊星型ボールミルなどを用いて黒鉛に粉碎処理を施すと、比表面積の大きな低結晶性炭素を得ることができます。本講演では、種々の条件で得た粉碎黒鉛を電極材料として使用し、有機系電解液中でのキャパシタ特性について評価した結果を報告します。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 029-861-8936
2020年8月の第2回研究会のオンデマンド視聴を希望します。

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail: